

令和4年3月定例会 一般質問通告一覧

発言順	通 告 者	質問事項（質問要旨は別紙）	質問の相手
1	大竹勝子	1 保健医療体制の拡充について 2 クーポン券で赤ちゃん訪問育児ヘルパーを	町 長 町 長
2	佐々木直也	1 当町の林業の方向性について 2 山林売買について 3 移住政策について 4 ふるさと納税について	町 長 町 長 町 長 町 長
3	石山貴美夫	かつてない厳しい茶業情勢の中、町の基幹産業と位置付けている『川根茶産業』の振興策を伺う	町 長
4	中澤 莊也	1 相続放棄された土地・建物の維持管理は 2 町づくりに懸ける町長の想いは	町 長 町 長
5	中原 緑	1 町の教育施策について 2 川根高校及び町内の高校生について	町 長 町 長
6	野口直次	施政方針と町の課題について	町 長

※ 議員の質問の制限時間は、1回につき30分以内（質問時間のみ）とし、再質問以降は一問一答方式とする。

発言順 1 番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
大竹 勝子	1 保健医療体制の拡充について	<p>(1) いやしの里診療所は、「町立町営」という位置づけになっているが、診療に当たる医師は事実上1名となっている。常駐する医師が実質1名という同診療所の体制を今後名実ともに保健医療体制の要として、思い切った拡充を図る考えはありませんか。</p> <p>(2) 本川根診療所は、建設時点では町立診療所としての位置づけされていたと聞きます。町民の命と健康を第一に考える町政、町民が安心して暮らせる町づくり、子育てするならこんな町で、老後を過ごすならこの町でと、心底思える町づくりへむけての気概を示す考えはないか。</p>	町 長
	2 クーポン券で赤ちゃん訪問育児ヘルパーを	<p>新年度予算にでてくる子育て支援事業に物資だけでなく近隣の市町でやっているクーポン券で、赤ちゃん訪問育児ヘルパーが使えるように取り組む考えはないか。</p>	町 長

## 発言順 2 番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
佐々木直也	1 当町の林業の方向性について	国が「2050年までのカーボンニュートラル」を方針として示している。当町は森林面積が約94%、うち国有林が28.6%の比率であり、カーボンニュートラルに向けて役割を積極的に担うべきと考えるが、この部分での町の考え方、方針を伺う。	町長
	2 山林売買について	コロナ禍やキャンプブームの影響で、全国的に特に都市部の30代から40代が山林を買い求める傾向が強くなってきているようだが、町としては、山林売買について問い合わせ窓口の設置やWebサイトを立ち上げる考えはあるか。	町長
	3 移住政策について	ここ数年の当町への移住希望の問い合わせは、50代から70代が多いとのことだが、若い世代への発信がうまくいっていないのではないかと。今後の方針、具体的な対策を伺う。	町長
	4 ふるさと納税について	返礼品の8割がお茶とのことだが、今後どういったものを増やしていきたいか。町としての考えを伺う。	町長

### 発言順3番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
石山貴美夫	かつてない厳しい茶業情勢の中、町の基幹産業と位置付けている『川根茶産業』の振興策を伺う	<p>(1) 茶農家でもある町長は、町の川根茶振興に力強い言葉を頂くが、新年度予算は前年より少ない。町の総合計画でも、川根茶を町の強みを活かすとして、ブランド強化、担い手育成など挙げているが、成果は現状の通りである。茶農家・茶販売業者を、もう一軒も減らさない覚悟の『茶業振興策』を伺う。</p> <p>(2) SDGs（持続可能な開発目標）が、世界や日本の取り組みの基本となるなか、国・県の有機農業への取り組みがある。我町も情勢に乗り遅れない対策が必要だと考える。町の対応策を伺う。</p> <p>(3) フォーレなかかわね茶茗館の機能充実と、今後の活用について伺う。</p> <p>(4) 『川根茶魅力発信拠点整備事業』の進め方と、今後の事業の方向につき伺う。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>

発言順 4 番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
中澤 莊也	1 相続放棄された土地・建物の維持管理は	(1) 所有者不明土地・建物を生じさせないため、利害関係人として、まちは、財産管理人の選任の申し立てを行う考えはないか。	町 長
		(2) 相続放棄したものが、財産管理人の選任の申し立てを行う場合、申請手続の支援や費用負担の軽減を図るための支援を行う考えはないか。	町 長
		(3) 相続放棄された土地・建物の維持管理を自治会等が行う場合、費用の一部等を支援する考えはないか。	町 長
	2 町づくりに懸ける町長の想いは	(1) 移住・定住対策の強化を図るため、プロジェクトチームを起ち上げようと考えている。その組織の概要、具体的活動内容等を伺う。	町 長
		(2) SDG s の考え方を取り入れた「誰一人残さない」持続可能な社会の実現、千年先も続く「まち」づくりをどのように進めていく考えであるか伺う。	町 長
		(3) 令和 4 年度における SDG s の考え方の予算への反映と具体的な推進方法について伺う。	町 長
		(4) 農林業における後継者の育成と小規模事業者の事業承継の支援をどのように行っていく考えであるか伺う。	町 長

発言順5番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
中原 緑	1 町の教育施策について	(1) 町の将来を見据えて、「少子化」、「子育て世代人口流出」に歯止めをかけるため、「学校再編（統合）」という夢のある、大きな事業を、戦略的に進めてほしいが、町の教育について、どのように考えているのか伺う。	町 長
		(2) 町内小中学校の再編・統合計画について、町民への周知不足という声がある。 町は、町民に対して、常に丁寧な説明と、正確な情報を伝えていく必要があると思うがどう捉えているか伺う。	町 長
		(3) 廃校の利活用において、誘致企業の活用・解体等の判断、そのタイミングについて伺う。	町 長
	2 川根高校及び町内の高校生について	(1) 県内外留学生のための川根高校か、連携中学校の生徒のための川根高校か。川根高校へ進学する地元中学生の減少について、どのように考えているのか伺う。	町 長
		(2) 地域若者教育推進費について伺う。	町 長
		(3) 町内、町外へ通学する高校生に対し、公平な支援施策について伺う。	町 長
		(4) 高校卒業後、町内への就職先の受け皿拡充について伺う。	町 長

発言順 6 番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
野口 直次	施政方針と町の課題について	<p>1 今後のいくつかの懸案事項と思われる中の 2 点に対する考え方を伺う。</p> <p>① 農林業振興対策に対し、町長の抱負を伺う。</p> <p>② 生徒減少に伴い、川根高校存続の為に新たな対応策を示す必要があるのではないのかを伺う。</p>	町 長
		<p>2 定住の促進及び人口減少のための対策について</p> <p>① 地元企業へのさらなる支援等が必要ではないのかを伺う。</p> <p>② 移住定住促進事業で住居と同時に働く場所確保の必要性が重要視されると考えるが伺う。</p> <p>③ 新規企業誘致が近年低迷していると考えられるが、従来の業種にとどまらず新しい企業誘致も必要ではないのか、対策を伺う。</p>	町 長
		<p>3 防災対策について</p> <p>① 気候変動による異常気象災害、南海トラフ巨大地震等の防災減災の強化について、近年コロナ禍で追加の変更点があるのか、町民への周知を伺う。</p> <p>② あってはならないが、夜間・休日における大地震が突発に発生した場合の職員の招集マニュアルはどのようになっているかを伺う。</p>	町 長